

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習 II		
担当者(Instructors)	丸岡 利則	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この演習は、人間学のテーマの1つである生活問題と社会問題について自分の言葉で考え、それを自分の言葉で伝えることが目的である。人間学概論で学んだテーマの核心を捉え、それを言葉で組み立てることである。さらには、そこから自分の言葉にして他者に伝える方法について、授業のなかで質疑応答などによって理解する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習の方法は、人間学のテーマの意味を理解することにある。そこでは、学生が意見を出し合いながら、ディスカッションによって、そのテーマの核心が捉えられるようになることにある。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	「近代」における「個人」という意味を考える	【対面】個人という意味を近代概念から明らかにする	<input type="checkbox"/>
第2回	他者の規定を考える	【対面】他者の規定と限定を先行理論から考える	<input type="checkbox"/>
第3回	個人と社会との関係を考える	【対面】個人と社会との関係を人間関係から考える	<input type="checkbox"/>
第4回	「意味」という意味を考える	【対面】意味という病をもつという意味を考える	<input type="checkbox"/>
第5回	家族という意味を考える	【対面】家族関係という制度を理論から考える	<input type="checkbox"/>
第6回	地域という意味をテーマにして考える	【対面】大学祭の準備大学祭の参加の方法（地域をテーマにする）	<input type="checkbox"/>
第7回	社会という意味をテーマにして考える	【対面】大学祭の準備大学祭の企画運営（社会をテーマにする）	<input type="checkbox"/>
第8回	社会についての問題意識を高める意味を考える	【対面】大学祭の参加大学祭参加（社会について自己の問題意識から考える）	<input type="checkbox"/>
第9回	個人と社会との結びつきを考える	【対面】個人と社会との結びつきを関係として考える	<input type="checkbox"/>
第10回	社会関係を考える	【対面】個人と社会制度との社会関係を考える	<input type="checkbox"/>
第11回	主体と客体を考える	【対面】主体的側面と客体的側面から主体的側面の制度との関係を考える	<input type="checkbox"/>
第12回	生活問題を議論する	【対面】個人の欲求と社会から生活問題を議論する枠組みを変換する	<input type="checkbox"/>
第13回	地域問題を議論する	【対面】地域問題を家族と社会から議論する	<input type="checkbox"/>
第14回	社会問題を議論する	【対面】生活問題を解決するために何をすればよいのかを考える	<input type="checkbox"/>
第15回	生活問題の解決するという理論を考える	【対面】自分の将来の自己像（生活像）をイメージから作り出すこと	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

1. 文章を書くこと（1時間） 2. 読書についての意見を自分で言えるようになること（2時間） 3. 意見の違いを認識することと、同じ意見であることを確認すること（1時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出したレポートは、添削・採点の上返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	「人間学」の問題の核心を捉えて、多様な価値観を包括する「人間学」の概要を理解することができること。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	「人間学」のテーマについて、自分の言葉で考え、言葉にすることができること。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	「人間学」の問題について、自己の問題として捉え直し、それを他者と協働することができること。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
課題は、毎回のレポート（文献研究・調査研究を中心にデータをまとめた報告書=70点）を提出すること				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	岡村重夫（1983）『社会福祉原論』（全国社会福祉協議会）	
2		
3		
4		
5		